

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら神戸舞子教室

事業所名 こぼんはうすさくら神戸舞子教室

保護者等数(児童数) 28人 回収数 23 割合 82 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1		1	丁度良い広さの教室だと思います。	引き続き安全な空間を維持していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	1		3	いつ見学に行っても先生がしっかり配置されています。 1人の職員が2、3人の児童を見ているので、職員がこぼんを自分で把握できるようにマークも付けて、自分の場所だと分かりやすくされていました。	丁寧な支援が行える配置と専門知識の向上に努めていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20			3	指示物も工夫されていて、資格優先の息子にとってありがたいです。	利用者の特性に合わせて、安全かつ視覚的に分かりやすい設備環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22	1			部屋の照明は適度な明るさでした。その日のスケジュールが子どもたちに分かるように記載されていました。白当たりが良く、夏は水遊びができるスペースがあるのが素敵です。	引き続き清掃、消毒を徹底し、お子様が心地よく過ごせる空間作りに努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	23				丁寧に聞き取りを行った上で、子どもに合った目標設定をしていただいています。 親が子どもについて困った事について改善されるような支援計画を作ってください。	今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23				親が子どもにどうやってほしいか、それをふまえて支援内容を作ってください。 多方面から支援内容設定をしていただいています。	今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23				子どもの様子を教えていただいています。出来なければ職員の方がサポートして、出来るように促して下さっています。 息子をしっかりと見てくださり成長に応じて支援	今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22			1	出来た事について更に高度な内容の支援計画を提案していただき子どもの成長のステップアップを目指してくれます。 様々なレクリエーションを提供して下さり有難	一人一人お子様の特性に合ったプログラムと飽きのないプログラムを引き続き維持していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	3	1	10	天気、気温が良い日は公園に連れて行くので、障害のない子と接する機会があります。 またお出掛けされているので、その時に遊	今後の検討課題にしていきたいと思います。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23				契約時に一緒に契約書に書かれた内容を読んで具体的に説明してくれます。 母子分離で集中して話をできてありがたかったです。(契約前の息子をみてくれた)	明確なお話や見通しが予想出来る説明を心掛けていきます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23				個人面談の際に次の支援内容を計画書に記載した補足説明してくれます。 十分な時間をとり、しっかり説明して下さり、根拠があるものでありがたいです。	より詳しく支援内容の説明が行える時間を設けられるよう、検討改善を行っていきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	17	1		5	個人支援面談の際に、家庭での子ども接し方について教えていただきました。 相談事に対してアドバイスをくださる体制が整っています。 ペアレント・トレーニングの開催日が増えると嬉	保護者が相談しやすい環境、時間が作っていただけるよう検討改善を行っていきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23				電子リム以外にラインや電話で子どもの様子や成長を教えてください。 送迎時の口頭での伝達だけでなく、連絡帳やラインで情報共有できています。	不安な思いが残らないよう今後も継続していきます。
保護者 への 説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23				目標変更時の面談(電話)だけでなく、いつでも相談のついでにできるのでも動きます。 半年に1度の面談の他に電子リムやライン、電話でおたずねに答えてくれます。	お子様の特性を踏まえ、保護者様の思いと併せた面談を今後も続けていきたいと思っています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	4		2	家族参加可の秋祭り時に、保護者懇談会を開いてくださいました。 同じ幼稚園のお母さんを紹介して下さり、うれしかったです。 秋祭りに参加させていただきました。他の保護者の意見交換できて良かったです。 電子リム、ライン、電話で連絡が取れるので対応が早いと思います。 先生がしっかり休めているの心配になるほど迅速かつ適切に対応してくれます。 放デイに関する相談は回答に一年以上かかるのが不安です。(以前聞いていた情報と違って)	引き続き保護者交流会を実施していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19		1	3	うまく気持ちが伝えられないので、近くによりそって子どもの話を聞いてくれます。 口頭、ライン、連絡帳、様々な形で情報伝達していただいています。 おなやま(母)と関係もできています。	迅速丁寧な問題と向き合っていきたいと思っています。
	17	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1				引き続き配慮を心掛けていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18		1		ラインで写真付きで活動報告をして下さり有難いです。 毎月プログラム(日替わり)提出、イベント時にはこまめに写真をたくさん送って下さり、とても嬉しいです。	現在積極的には出来ていませんので、強化していきたいと思っています。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	21	1		1	写真はモザイク処理等、配慮してくれています。	今後も十分注意して取り扱っていきます。
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16	1		6	契約時に説明を受けた。訓練もプログラムにいられてくれます。 社内研修の為、短縮営業のお知らせをいただいた事がありますが、その時に実施されているかよく分かりません。	研修は随時行っていますが、周知説明を強化していきたいと思っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	2		4	定期的に子どもに避難訓練をして下さっています。	定期的に行っていますが、利用者様が固定されないよう曜日を交えるなど周知徹底していきます。
満足	22	子どもは通所を楽しみにしているか	19	4			教室へ行くことを楽しみにしています。いつも満足した様子で帰ってきます。毎度のレクリエーションだけでなく、先生方のことも大好き	楽しんで療育活動が受けられるよう、工夫し向上に努めていきます。

年度	23	事業所の支援に満足しているか	19	4		家庭ではできない(思いつかない)ような様々な体験をさせてくださり、成長につながる多くの刺激をいただけてとても有難いです。先生方の熱心さにも感謝しています。	支援の向上に努めていきます。
			459	24	3	39	87%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら神戸舞子教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	定員が多い時は2教室を使用したり、机の配置を変えている。	引き続き安全な空間を維持していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	4		子どもの人数や障害の度合いに合わせて配置している。	丁寧な支援が行える配置と専門知識の向上に努めています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		トイレの空間や玄関が見通しやすいうように配慮している。	視覚支援でもわかりやすい提示物等を増やしていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		子どもにわかりやすい。加湿器を使用。使用したものに消毒をしている。室内で運動をする時は机を寄せて広くスペースをとっている。	引き続き安全な空間を維持していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		毎日の朝礼と終礼で周知を徹底している。	朝終礼ノートの活用し、職員間でミーティングを行い改善策等話し合い共有していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者評価や自己評価を参考に今後の業務改善に繋げている。	今後も業務改善に努めていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			今後の検討課題にしていきたいと思います。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		本部より視察、指摘箇所の改善。	子供たち、保護者の方が安心して利用できるような業務内容の改善、向上に努めていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			引き続き十分な時間を取り研修を行っていきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		半年の面談以外に、入所後保護者に子どもの様子を見る機会を作る。保護者様のニーズが面談を行う。	お子様の特性を踏まえ、保護者の方の思いを併せた面談を今後も続けていきたいと思います。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			定期的なアセスメントにより、ニーズに沿った支援を行っていきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			今後の検討課題にしていきたいと思います。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		支援計画書を職員と共有。定期的なミーティングを行う。	今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		毎月活動プログラムをチームで立案しており、	引き続き職員が自分の意見、提案ができる時間環境を作り、職員全員でより良いプログラムを提供出来るよう努めていきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		過去の予定表も見ながら、同じレクリエーションが重ならないように出来る限り気を付けてながら計画しております。	固定化しないように日々の利用者の状況を把握し、プログラムを立てるようにしていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	4		ひとつのレクリエーションも子どもに合わせて行っている。	個々の状況に応じた個別及び集団活動を組み込んだ計画を考察していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝礼でその日の子どもの様子、注意点を共有。	引き続き朝礼で支援内容や留意点等の情報を共有していく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		終礼でその日の気づきを共有している。終礼を記録に残し、全職員が確認できるようにしている。	今後も終礼時の報告の徹底を図ると共に、全職員が情報を共有できるノート等を充実させていきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		毎日業務日報にて記録し、共有を行い、日々検証と改善に努めております。	各記録に不備や漏れが無いよう日々の確認を行っていきます。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		月1回のミーティング。必要時のミーティング。	引き続き現状を維持していきます。	
関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			必要な際には児童発達支援担り責任者と現場職員が参画してまいります。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4			今後の検討課題にしていきたいと思います。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3		該当なし	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3		該当なし	

機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		必要な際には迅速に支援内容の共有と情報共有に努め、相互理解を図っております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3			必要な際には迅速に対応してまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			スケジュールが合えば積極的に研修等も受けるようにしてまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3		必要な際には検討してまいります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	2		スケジュールが合えば積極的に参加してまいります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時に話したり電子連絡帳でその日の様子を伝えしている	継続して行っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3			保護者が相談しやすい環境、時間が作っていただけるよう検討改善を行ってまいります。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			明確なお話や見通しが予想出来る説明を心掛けていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4			明確なお話や見通しが予想出来る説明を心掛けていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		定期的な面談に加えて電話などで日頃から育児相談に応じている	迅速に明確な対応ができるよう、引き続き体制を整えていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			継続して保護者交流会を実施してまいります。
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		必要に応じて、電話、面談を実施している	迅速に明確な対応ができるよう、引き続き体制を整えていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	前月にレクリエーションの予定を連絡している行事やお出かけの際は写真を送って様子をお伝えしている	分かりやすく定期的に情報を発信できるように、改善できる点は検討してまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		書類は鍵付きの書庫で管理し、不要な書類はシュレッダーで処分しております。写真を送る際は他児の顔を隠すなど配慮も行ってあります。	引き続き十分に注意してまいります。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		電子リトムで一日の様子を伝えるようにしている。	児童、保護者の状態を把握しより分かりやすい伝達に努めてまいります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		今後の検討課題にしていきたいと思っております。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			研修は随時行っていますが、周知説明を強化していきたいと思っております。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		毎月避難訓練を行っている。	定期的に行っていますが、利用者様が固定されるよう曜日を変える等周知徹底してまいります。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4			引き続き十分に留意し保護者から聞き取りを行いミスが出ないよう確実にアセスメント反映し、職員間でも周知徹底してまいります。	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	アセスメントシートで保護者から聞き取りを行っています。	引き続き十分に留意し保護者から聞き取りを行いミスが出ないよう確実にアセスメント反映し、職員間でも周知徹底してまいります。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		日報に記入、終礼で共有している	引き続き確認の徹底を行っていく。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			今後も定期的な研修を実施してまいります。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3			今後、対象児の入所があれば、速やかに施設内で協議を行い、保護者への説明と同意を経たうえで、必要最低限で行うことを個別支援にも記載する。	